

科目名	解剖学 I (昼間部)					
分野	専門基礎分野	担当教員	小林 千紘			
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	柔道整復師として必要な骨・関節・筋肉についての解剖学的な形態と構造の知識を習得する。					
学習の到達目標	1. 身体の部位を解剖学的に区別できる。 2. 身体の方角用語を正確に説明できる。 3. 生体を構成する骨を列挙できる。 4. 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 5. 骨格筋の構造と機能を説明できる。 6. 全身の骨格筋の構成と機能を説明できる。					
成績評価の方法と基準	試験を実施し、60点以上を合格とする。					
使用テキスト	「解剖学」改訂第2版:全国柔道整復学校協会監修、岸 清・石塚 寛著、医歯薬出版					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	人体の部位と用語を理解する。骨格の構成と骨の基本構造を理解する。					
2	関節の形態と機能を理解する。					
3	脊柱(頸椎・胸椎・腰椎・仙骨・尾骨)の形態を理解する。					
4	胸郭(胸椎・胸骨・肋骨)の形態を理解する。					
5	骨盤(寛骨・仙骨)の形態を理解する。					
6	高齢者の障害予防③:高齢者の外傷予防訓練					
7	上肢の骨(上腕骨)の形態を理解する。					
8	上肢の骨(橈骨・尺骨)の形態を理解する。					
9	上肢の骨(手部)の形態を理解する。					
10	下肢帯の骨(寛骨)の形態を理解する。					
11	下肢の骨(大腿骨)の形態を理解する。					
12	下肢の骨(脛骨・腓骨)の形態を理解する。					
13	下肢の骨(足部)の形態を理解する。					
14	頭蓋の形態と頭蓋を構成する骨の形態を理解する。					
15	総合評価(まとめ)					

16	筋学総論・頭部の筋の構成と機能を理解する。
17	胸部の筋(浅胸筋、深胸筋、横隔膜)の構成と機能を理解する。
18	背部の筋(浅背筋、深背筋)の構成と機能を理解する。
19	上肢の筋(上肢帯の筋、上腕の筋)の構成と機能を理解する。
20	上肢の筋(上腕の筋)の構成と機能を理解する。
21	上肢の筋(前腕の筋)の構成と機能を理解する。
22	手の筋の構成と機能を理解する。上肢の筋のまとめ
23	下肢の筋(下肢帯の筋、大腿の筋)の構成と機能を理解する。
24	下肢の筋(大腿の筋)の構成と機能を理解する。
25	下肢の筋(下腿の筋)の構成と機能を理解する。
26	足の筋の構成と機能を理解する。下肢の筋のまとめ
27	腹部の筋(前腹筋、側腹筋、後腹筋)の構成と機能を理解する。
28	頭部の筋(顔面筋、咀嚼筋)の構成と機能を理解する。
29	頸部の筋(前頸筋、側頸筋、後頸筋)の構成と機能を理解する。
30	総合評価(まとめ)

(2024年度)